

G・S科 シラバス

1. 教科の学習目標

第1学年の目標

- ・ 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

第2学年、第3学年の目標

- ・ 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

<コミュニケーション能力のGOAL>

- 相手（話し手、書き手）の伝えたいことを正しく理解したうえで、自分の考えや思いを伝えることができる。
- 日本や日本の文化に誇りを持ち、自分の言葉で発信することができる。

2. 評価の観点及び方法

<知識・技能>

- ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きを理解している。
- ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり・発表）、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。

評価方法例：単元テスト、定期テスト、ワークシート、パフォーマンステストなど

<思考・判断・表現>

- ・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。

評価方法例：単元テスト、定期テスト、論述やレポート、グループ発表、パフォーマンステストなど

<主体的に学習に取り組む態度>

- ・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。

評価方法例：振り返りの記述、テストなどに向けて粘り強く自らの学習を調整しようとしているか、パフォーマンステストでの取り組み

★単元テストについて

○方法：G・S科ではペーパーテストに加え、*パフォーマンステストを単元テストとして毎単元の最後に実施する。

○年間予定：1年生：1か月に1回程度の間隔でそれぞれ行う。（全11プログラム）

2年生：1か月半に1回程度の間隔でそれぞれ行う。（全8プログラム）

3年生：1か月半に1回程度の間隔でそれぞれ行う。（全7プログラム）

具体的な実施日は進度や時間割をもとに1週間以上の余裕をもって生徒に伝える。

- *パフォーマンステストとはプログラムの最後の部分あるいは最後の方で行われている言語活動で、最終的に総合的評価となるものである。スピーキング、リーディング、ライティング、リスニングの技能を総合的に活用しディスカッションやディベート、ミーティング、スピーチ等のテストを行い、各単元の評価規準に従い評価する。

以上の観点について、「十分満たしている」項目をA、「概ね満たしている」項目をB、「努力を要する」項目をCとして評価し、これに基づいて5段階で評定を行う。

3. 学習の概要

第1学年

月	単元名	時数	学習のねらい・目標
4	Classroom English	1	授業で用いられる英語表現を理解する。
	Get Ready	8	・聞き取った情報を参考に、好きな食べ物や行きたい国などについて、話したり書いたりする。 ・友だちとの対話や先生へのインタビューを通して、即興でやり取りをする。
	Program0 アルファベットを確かめよう	1	アルファベットの形、つづり字、発音について理解する。
5	辞書を引いてみよう	1	辞書の引き方について理解する。
	PROGRAM 1 Let's Make Friends! (友だちを作ろう)	6	生徒が新しい学級で自己紹介の文を発表し友達を理解する。小学校でも活用してきた表現も使いながら、簡単な英語で自分のことを伝えたり相手の話にリアクションを伴った表現を入れたり、質問し相手の内容を確認しながら話すところを評価する。
	Word Web 1 数の言い方	2	年齢や電話番号、値段などの言い方を理解し、正確に聞き取ったり、伝えたりする。
	PROGRAM 2 You are a School Reporter (1-Bの生徒たち)	8	生徒は学校新聞の記者になり、よいマナーで学級の友だちにインタビューをする。
	Word Web 2 曜日と天気などの言い方	1	曜日や天気などの言い方を理解し、やり取りする。
	Steps 1 英語でやりとりしよう①	2	既習の表現を使って、質問のやり取りをする。
	アクションコーナー	2	命令文の表現を理解し、正確に聞き取ったり、やり取りしたりする。
6	PROGRAM 3 Let's Have a Talent Show	8	自分ができることやできないことを表現したり、質問したりしながら友だちと話し合い、舞台上で披露する内容を決める。生徒は積極的に発話したり、話し合いの中で的確な質問を考え、相手が言った内容を深める質問をしたりする。マッピングを活用しながら、自分の好きなことについて発表する。
	Steps 2 考えを整理し、表現しよう	3	
	Our Project 1 あなたの知らない私	6	・即興で、相手にわかりやすく自己紹介をする。 ・内容を整理して、まとまりのよいスピーチ原稿を書く。
8	Power-Up1 ハンバーガーショップに行こう	3	設定した状況に応じて、メニュー表を見ながら、店員役と客役に分かれてやり取りする。
	PROGRAM 4 Let's Introduce Japanese Things! (Let's Enjoy Japanese Culture.)	6	オーストラリアに留学している日本人の生徒が日本のものなどについてクラスメイトに紹介をすることである。
	Power-Up2 持ち主をたずねよう	3	which や whose の表現を使いながら、持ち主についてやり取りする。
9	PROGRAM 5Saitama International Junior Ambassador (Junior Safety Patrol)	9	さいたま市にゆかりのある有名人について、仲間と協力し合って調べ、その内容を“さいたま市国際ジュニア大使”として他者にわかりやすく伝える。有名人についての情報をグループで協力して収集し、クラスの友達にスピーチする。
	Word Web3 季節・月の名前	1	季節や月の名前などの言い方を理解する。
	PROGRAM 6 My favorite movie (The Way to School)	8	お気に入りの映画を選び、その内容に関してマッピング等を行い整理し論理的な映画の紹介を作り、聞き手からの質問に答える活動である。
	Power-Up 3 道案内をしよう	3	駅ビルの地図を見ながら、客役とスタッフ役に分かれてやり取りする。
	Power-Up 4 店内放送を聞こう	1	店内放送を聞いて、その内容を理解する。
10	Word Web 4 順番・日付の言い方	1	順番や日付などの言い方を理解し、やり取りする。
	PROGRAM 7 Let's Teach about Japan Online! (Research on Australia)	8	生徒がさいたま市(日本)の魅力ある所について動画を撮影し、姉妹校に送る場面である。それに向けて自分で選んだ文化についてまとまりのある文を書いたり、ペアで紹介したりする言語活動を計画する。
	Steps 3 話の組み立て方を考えよう	3	わかりやすい構成を考えながら、あるトピックについて自分の考えを発表する。
	Steps4 英語でやり取りしよう②	2	さまざまな疑問文を用いて、やり取りをする。
	Word Web5 疑問詞のまとめ	2	さまざまな疑問詞の使い方を理解し、やり取りをする。
11	Our Project 2 この人知っていますか	6	マッピングを活用し、紹介したい人について、話す内容や順番を考え、書いたり、発表する。
	Power-up5 インタビューを聞こう	2	インタビューを聞いて、その内容を理解する。
	PROGRAM 8 World Festivals (The Year-End Events)	8	グループで協力して世界の国の祭りやイベントについて調べ、わかったことを絵に表して、その絵を用いて発表することがテーマである。
12	Steps 5 絵や写真を英語で表現しよう	3	絵の情報について適切な英語を用いて表現する。
	PROGRAM 9 Writing a Letter (A Trip to Finland)	10	海外にいる英語圏の友達と手紙を交換するというテーマで生徒は自分の経験に基づいて手紙を書く。また、受け取った手紙を読んでその内容について返事を書く。
	Steps 6 文の内容を整理し、表現しよう	3	図表を活用しながら、PROGRAM 8、9の内容について説明する。
2	PROGRAM 10 Skits (Grandma Baba's Warming Ideas!)	10	グループで英語の劇を作成し、発表する。パフォーマンステストでは英語劇をグループで発表する。
	Steps 7 英語でやりとりしよう③	2	現在・過去進行形・過去形の疑問文を使って、適切に質疑応答する。
	Our Project3 私が選んだ1枚	6	自分が選んだ絵や写真について、メモやマッピングをもとにわかりやすく情報を整理し、紹介をする。聞き手のコメントや質問に対応し、やり取りをする。
3	Power-Up 6 絵ががきを書こう	3	モデル文を参考にしながら、海外の人に対しての絵ががきを書く。
	Reading Steps	5	物語や説明文などを読んで、内容を理解し、自分のことや考え、知りたいことなどを書く。

第2学年

月	単元名	時数	学習のねらい・目標
4	進級おめでとう	2	グローバル・スタディ科の授業における約束を確認し、新しいクラスメートのことを知るためのやりとりを行う
	辞書を読んでみよう	1	英和辞典に親しみ、日々の学習で日常的に使用する。
	Program 0 Classroom English		2年生の教科書のプログラム内容の概要を捉え、クラスルーム・イングリッシュを使いながら、内容を確認する
	PROGRAM 1 Making New School Trip Plans	9	市内の中学生の宿泊学習について考え、ミーティングで話し合い意見交換をする。
5	Steps 1情報をつなげ、メモをとろう	3	マッピングを活用し、インタビュー活動を行う。
	PROGRAM 2 International Youth Meeting	9	グループでSDGsについてのグループプレゼンテーションを行う。
	Power-Up 1 天気予報を聞こう	1	天気予報を聞いて、必要な情報を聞き取る。
6	Power-Up 2 電話をかけよう	3	電話のやり取りを行う。
	World Web 1 スープの材料	2	自分の好きなスープをデザインし、紹介し合う。
	PROGRAM 3Taste of Culture	8	生徒は屋上で各国の食べ物を実演するプレゼンテーションに取り組む。
7	Steps 2 文章の構成を考えよう	3	文章の構成を考えて、自分の行きたい場所についてまとまりのある英文を書く。
	Our Project 4「夢の旅」を企画しよう	8	グループでプレゼンテーションを行う。別のグループのプレゼンテーションについて、質問やコメントをする。
8 9	Reading 1Writing a Report	4	教科書本文を読み、内容の理解を深めるためにT/FやQ and A形式の問題に取り組む。
	World Web 2 いろいろな形容詞	1	対義語の形容詞を絵を用いて理解し、表現する。
	PROGRAM 4Introducing Japan	10	日本にやってくる留学生に対し、どんな食べ物、乗り物、先端技術などを紹介したらよいかグループで話し合う。パフォーマンステストでは、生徒がミーティングを行う。
10 1 1	World Web 3 楽器の名前	1	いろいろな楽器の言い方を理解し、演奏してみたい楽器や好きな楽器などのやりとりを行う。
	PROGRAM 5 Work Experience	9	スピーチを、メモをとりながら聞いたあと、スピーカーに対し、質問、アドバイス、スピーチから学んだことなどをフィードバックする。「聞き手」に焦点を当てたパフォーマンスとなる。
	Power-Up 3レストランで食事をしよう	2	ある状況を設定して、店員役と客役に分かれて、レストランでのやり取りを行う。
	PROGRAM 6 New ALT Will Come!	10	新しいALTに紹介するために、日本の歴史や文化について、簡単な語句を用いて、プレゼンテーションを行う。
	Steps 3 会話をつなげ、深めよう	3	あいづちや疑問文を用いて、好きな人物についての会話を行う。
	Our Project 5 こんな人になりたい	8	<ul style="list-style-type: none"> 人物について紹介ポスターをグループで意見を出し合いながら協力して作成する。 他のグループのポスターを読んで、感想を伝える。
12	Reading 2Writing a Report	8	読んだ記事を読み手にわかりやすいようにまとめ、簡単な語句を用いて、レポートを正しく書く。
	Word Web 4いろいろな前置詞	1	いろいろな前置詞の言い方を理解し、絵を見ながらどこにいる（ある）かについてやりとりをする。
1	PROGRAM 7 A Gateway to Japan	9	生徒が生徒会のメンバーになり、英語でディスカッション（協議）をして、学校の様々なことを決定していく。
	Steps 4相手にわかりやすい説明をしよう	3	相手にわかりやすい説明するために、ポイントを理解し、知らないものや人について説明をする。
2	Power-Up 4 空港アナウンスを聞こう	2	空港アナウンスを聞いて、重要な情報を聞き取り、それについて確認するやりとりをする。
	PROGRAM 8 A Hope for Lasting Peace	10	世界平和を脅かす様々な問題の原因を調査し、その解決策を模索する。
	Steps 5説得力のある主張をしよう	3	あるテーマについて、説得力のある理由をまじえて自分の意見を主張する
	Power-Up 5 メールで近況報告をしよう	3	友だちに自分の近況を報告するメールをわかりやすい構成で書く。
	Our Project 6この1年で得た「宝もの」	8	スピーチ原稿を書き、スピーチをする。また聞いたスピーチについて質問やコメントを述べる。
	Word Web 5 町の風景	3	地図を見ながら、相手の行きたい場所について、道案内をする。
3	Reading 3 Summarize the Story	4	英文を読み、重要な表現を論理的につなげて、40語～50語程度の要約文を書く。
	Reading Steps	6	物語や説明文などを読んで、内容を理解し、自分のことや考え、知りたいことなどを書く。

第3学年

月	単元名、目標	時数	学習のねらい・目標
4	辞書を使いこなそう	1	辞書に書かれている情報について確認する。
	Program 1 Let's Discuss For Our School Food Festival	10	外国の食べ物についてディスカッションする。
	Word Web 1 家の中と外	2	自分がその部屋にいたら何をするのかについて話し合う。
5	Steps 1 ディベートをしよう	3	ディベートの流れと意見の主張の仕方について理解し、ディベートをする。
	Program 2 School's Health Committee	9	保健委員として健康のためにやっていること、および習慣についてインタビューする。また、健康のために委員会として、学校のためにできることをディスカッションする。
	Power-Up 1 道案内をしよう②	3	路線図を見ながら、たずねられた目的地への道案内（電車の乗りかえ）をする
6	PROGRAM 3 Did You Know in Japan..?	9	自分自身・自分の街、そして日本で人気のスポーツについて紹介をする。自分たちで選んだトピックについて調べ、グループ内で紹介をする。
	Steps 2 メモの取り方を学ぼう	3	5W1Hを意識しながらメモをとり、それをもとに話の内容について話し合う。
7	Our Project 7 記者会見を開こう	6	歴史上の人物や芸能人などがしたことを題材に記者会見スピーチを行い、それについて質問したり応答したりする。
	Reading 1 Do You Know This story? (Faithful Elephants)	8	題材を読み、英語でブックレポートを作成する。
8	Power-Up 2 買ったものを交換しよう	3	お店に対して交換を要求するやりとりをする。
9	PROGRAM 4 What Is the Best Thing in Japan?	10	日本特有の遊具や祝日、建造物などをグループで調べ、クラスの代表をグループディベートで決める。
	Power-Up 3 ホームページで学校を紹介しよう	3	ホームページの構成を分析し、自分の学校の行事や部活を英語で書く。
	Steps 3 簡単な表現で言いかえよう	3	英語での言い方を知らないものを、自分が知っている表現を使って伝え合う。
10	PROGRAM 5 The History of Food	10	生徒がディベート大会に参加する。ディベートは3人グループの中で1人が審査員、他の2人がディベート対戦を行う形とする。
	Steps 4 わかりやすい文章を考えよう	4	つなぎ言葉などを使った英文を読み、文章の構成を分析して書く。
	Word Web 2 動詞の使い分け	1	複数の意味を持つ動詞について理解をする。
11	PROGRAM 6 Future Leaders Debate	10	将来の日本を担うものとして、各グループでSDGsについて日本が取り組むことのできる目標を1つ選び、他のチームとディベートを行う。
	Steps 5 ディスカッションをしよう	3	テーマについてディスカッションをし、結論を導く。
	Our Project 8 あなたの町を世界にPRしよう	8	いちばんよいPRについてディスカッションをして決める
	Power-Up 4 非常時のアナウンスを聞こう	1	ディベートで起きた火災についてのアナウンスを聞いて、重要な情報を聞き取る
12	PROGRAM 7 What Would You Do If you Had One Wish ?	11	「もし1つだけ願いが叶うとしたら、何を願いますか」というタイトルで英語のスピーチを書く。
	Reading 2 Active Reading	9	Active Reading の技術を身につける。
1	Special Project 中学校の思い出を残そう	6	中学校の思い出についてクラスやグループで内容や発表方法を考え紹介する。
	Word Web 3 オリンピック競技・パラリンピック競技	2	出場してみたいオリンピック競技・パラリンピック競技について話し合う。
	Further Reading 1 The Ig Nobel Prize	6	イグノーベル賞についての英文を読む。
2	Further Reading 2 Library Lion	9	「としかんライオン」の物語を読んで、理解する。
	Reading Steps	4	物語や説明文などを読んで、内容を理解し、自分の意見を書く。